

## 「心の冒険」が大切 ～1年生オリエンテーション合宿～

1年生を対象にした1泊2日のオリエンテーション合宿の実施も、今年で2年目となります。昨年の4月に参加した現在の2年生に感想を聞くと、オリエンテーション合宿で行ったすべての活動（アクティビティー）がとても好評でした。そして、その後の学校生活でも、何事にも積極的に取り組み、西高生としての仲間意識を高め、6月の体育大会では全員が協力して総合優勝を勝ち取るすばらしい学年集団に成長しました。

平成30年度のオリエンテーション合宿も、5月1日～2日、加東市にある県立嬉野台生涯教育センターで「ひょうご冒険教育プログラム（HAP）」に取り組みました。「冒険」と聞くと、何かむずかしいことや危険なことを連想しがちです。確かに、高い壁を協力してよじ登るようなアクティビティーもありました。しかし、冒険には、日常生活の中のごく普通の場面で、「やってみようかな？ でも、ちょっと自信がないな」、「自分はこう思うけど、どうしようかな？」と迷ったときに、「一歩前に踏み出す勇気を持つ」というような「心の冒険」も含まれます。冒険には、それを支えたり見守ったりする仲間も必要です。

高校生活では、いろいろなことに挑戦してほしいと思います。未知の世界へ勇気を持って一歩踏み出したときに、人は一回り大きく成長することができます。

オリエンテーション合宿で体験した「心の冒険」が、チャレンジする気持ちへとつながり、学校生活の中で仲間と協力して課題に立ち向かうことで、信頼感や思いやりの気持ちを持った頼もしい高校生、すばらしい学年集団へと成長してくれることを期待しています。

（校長 高橋信之）

